

事務事業名	市内公共交通網構築事業				担当	総合政策部 総合政策課 交通政策係		
政策名	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 R3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
施策名	4	公共交通ネットワークの整備						
関連個別計画					事業期間			
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律							
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	令和3年3月に策定した真岡市地域公共交通計画に基づき、高齢者の増加などの社会情勢やまちづくりの変化に対応するため、市内全域を運行するいちごタクシーや中心市街地を循環するいちごバスに加え、中心市街地と周辺地区を繋ぐ新たな移動手段の導入について検討する。 また、いちごタクシーやいちごバスなどの既存の公共交通の見直しや、スクールバスなどの異分野連携、地域共助型生活交通の導入も含めた、地域の実情に合った公共交通網の構築を検討する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移																																																
3年度実績 ・地域の実情に合った公共交通網の検討を行うため、「真岡市公共交通網検討業務委託」を発注した。 ・地区協議会を真岡、山形、大内、中村、二宮の各地区3回ずつ行い、地域のニーズの把握と意見集約を行い、新たなコミュニティバス路線の導入に向け、実証実験を行うことで理解を得た。 第1回(1/19～5/25) 公共交通の現状説明と、ニーズの把握 第2回(6/19～10/22) 意見に対する対応として、新たなコミュニティバスの導入を提案 第3回(1/24～1/28) 新たなコミュニティバス路線の提案 ・真岡市地域公共交通活性化協議会において、新たなコミュニティバスの提案及び実証運行の実施について承認された。 12/1第2回協議会「周辺地域へ新たに導入を検討するコミュニティバス路線の実証運行の提案について」 1/21第3回協議会「周辺地域に新たに導入を検討するコミュニティバス路線の実証運行の実施について」 ・「真岡市公共交通網検討業務報告書」の中で、いちごタクシーやいちごバスなどの既存の公共交通の見直しや、スクールバスなどの異分野連携、地域共助型生活交通の導入について整理した。 ・令和5年春に新たなコミュニティバスの実証運行開始に向けて準備を進めた。 4年度計画 ・令和5年春に実証運行が開始できるよう準備を進める。 車両調達、バス停調達、コース・ダイヤ確定、運行委託業者決定、運輸局届出(活性化協議会で承認)、土木・建設課へバス停占用許可、警察との協議、市民への周知		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 活性化協議会での協議回数</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>イ: 新たなコミュニティバス運行日数</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	ア: 活性化協議会での協議回数	回					3	イ: 新たなコミュニティバス運行日数	日					0	ウ							エ							オ						
名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)																																												
ア: 活性化協議会での協議回数	回					3																																												
イ: 新たなコミュニティバス運行日数	日					0																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移																																																
真岡市民		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 真岡市民</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>78,592</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	ア: 真岡市民	人					78,592	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)																																												
ア: 真岡市民	人					78,592																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移																																																
公共交通手段がない、特に周辺地域の方の移動手段を確保し、買い物や通院といった日常生活を支えることで、安心して生活できるようにする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 公共交通機関の利用に関する利用者満足度</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>32.5</td> <td>33.4</td> <td>37.1</td> </tr> <tr> <td>イ: 新たなコミュニティバス乗客者数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	ア: 公共交通機関の利用に関する利用者満足度	%			32.5	33.4	37.1	イ: 新たなコミュニティバス乗客者数	人					750	ウ							エ							オ						
名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)																																												
ア: 公共交通機関の利用に関する利用者満足度	%			32.5	33.4	37.1																																												
イ: 新たなコミュニティバス乗客者数	人					750																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	4,114	10,713																																										
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																										
		県支出金	千円	0	0	0	0	0																																										
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																										
		その他	千円	0	0	0	0	0																																										
	一般財源	千円	0	0	0	4,114	21,131																																											
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	8,228	31,844																																											

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通ネットワークの整備に結び付いている。 また、超高齢社会の進展や運転免許証自主返納者の増加等に対応するために周辺地区と市街地を結ぶバス路線の整備など、新たな交通手段の整備を図ることで、公共交通の利用者の満足度を高めることができる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) ・公共交通機関は誰でも利用できることから、利用者全般を想定している。 ・「真岡市地域公共交通計画」においては、急速に進展する少子高齢化や、運転免許証を自主返納する高齢者の増加による、交通弱者の移動手段の確保対策が必要としており、地域の実情に合った新たな公共交通網の構築は、必要不可欠なものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 中心市街地と周辺地区を繋ぐ新たな移動手段の導入や、スクールバスなどの異分野連携、地域共助型生活交通などの検討を行う余地がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 新たなコミュニティバスの運行を行うための、最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
<p>(2) 課題、課題の克服の方向性</p>																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>		<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持			/																			
	低下			/																			
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり      ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																							
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																						